

魚津市立 村木小学校

きれいな鴨川をサケのふるさとに



魚津市立 村木小学校

校長：松本 修治
指導教諭：富川 貴徳
発表児童：6年生 8名



本校は、魚津市の商店街の中心部に位置し、今年創校100周年を迎える伝統ある学校である。児童数132名で、豊かな人間性と創造力をもち、ねばり強く実践する子どもの育成を目指している。

校区には、寺社や商業、漁業などにちなんだ遺跡や伝統文化が数多く残っており、子どもたちは、たてもん祭りや蝶六踊りなどの伝統行事に進んで参加している。また、地域の人々と共に、海岸清掃や鴨川清掃などのボランティア活動に意欲的に取り組んでいる。

発表テーマ

『鴨川を探る～鴨川の環境を考えよう～』

毎年、鴨川にサケの稚魚の放流を行い、サケが戻ってくることを願い、地域の方と一緒に鴨川清掃に取り組んでいます。

鴨川の環境について考え、その水について調査しました。水質やサケの遡上数について調べたことを発表します。

富川 貴徳 先生より

鴨川の環境を守るために、今、 自分たちができるることを実践しよう！

子どもたちは、今年の3月に自分たちが育てたサケの稚魚を鴨川に放流しました。そのサケが鴨川に戻ってくることを願い、鴨川の水質調査や清掃活動に取り組んできました。環境問題について調べたり考えたりすることはもちろん大切ですが、自分たちが出来ることから、まず実践することが一番大切なことだと思います。実践することで新しい発見や次の活動への願いが生まれてくるのです。子どもたちが鴨川でゴミ拾いをしていると、地域の方が集まってきて「ごみ拾つるがけ。頑張つとるね。」と笑顔で声をかけてくださいます。自分たちができる小さな実践を継続していくことで、子どもたちの願いが村木地区全体に大きく広がっていくことを願っています。



考えたこと！感じたこと！

自分ができることを続けよう

濱藤 大貴（6年生）

ぼくは、水みらいプロジェクトに参加して、鴨川清掃やサケの放流などの取り組みを多くの人に知つてもらいたいと思っていました。鴨川は外から見るより、実際に中に入つてみるとごみの多さがよくわかりました。これからも鴨川の環境を守るために自分ができることを続けていきたいです。

松本 茉夕（6年生）

鴨川で水生生物調査や水質検査をしました。鴨川清掃をしているのに、水は少し汚れているという結果でした。自分がゴミを捨てないことはもちろん、地域の人にも呼びかけていきたいです。そして、たくさんの人と協力して、サケがたくさん戻つてくる鴨川にしたいです。



▲片貝川の水が鴨川へ分水されています。



▲片貝川上流で水生生物調査をしました。



▲水生生物の種類をもとに水質を調べました。



▲魚津水族館の稻村先生から水と環境についてお話を聞きました。



▲鴨川の排水の水質検査をしました。



▲鴨川について総合学習で調べたことを鴨川新聞にまとめて、地区の皆さんに配りました。

学習テーマの設定

サケが戻る川にしたい

小さい頃から親しんできた村木小校区のシンボルである鴨川を“サケがたくさん戻つてくるきれいな川”“いろいろな生物や植物が生きている自然の豊かな川”にするため、いろいろなことに取り組みました。



3月上旬 鴨川に放流



カムバッカ・サーモン！

魚津市では毎年11月から市内の小学生がサケの稚魚をかえして大切に育てます。3月上旬、カムバッカサーモンを合言葉に、サケの稚魚が鴨川に戻ってきてほしいと願いながら鴨川や片貝川に放流します。

学習の展開

サケの卵がやってきた

11月、学校にサケの卵がやってきました。よく見ると小さい黒い目が見えてびっくり！直射日光や水温に気をつけ世話をしました。12月に約500匹のサケがほとんど生まれ、校内放送で全校に知らせました。



日に日に元気に成長
1月にエサやりが始まると言え残しやフンがたまるようになり、水を透明に保つため水替えに気をつけました。2月中旬、体長3~4cmに成長して動きも速くなり、体の色や背中の模様がはっきりしてきました。

いよいよ自然へ旅立ち

3月いよいよ放流の日。元気に育ったサケが自然の中に旅立ちます。3~4年後には鴨川に戻つくることを願い放流しました。私たちはサケの飼育体験を通して、小さな生き物にも大きな命があると感じました。



きれいな川への分かれ目
鴨川と源流の片貝川上流で水生生物を採集して比べると、鴨川はきれいな川と汚い川の中間ぐらいの水質でした。サケが戻つくるきれいな川になるかどうか分かれ目の今、自分たちでできることを考えました。

広がれ！鴨川への思い

まず鴨川のゴミ拾いです。村木地区の皆さんの鴨川清掃にも参加しました。また鴨川新聞を作つて、地区の皆さんへ呼びかけました。地域の皆さんと協力して、きれいな鴨川にしたいといふ思いを広げていきます！

